

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31108	学びとライフプランニングⅡ Study and Life PlanningⅡ	木村典子 全専任教員		基礎	1	必修	2通年

**科目の概要**

「学びとライフプランニングⅡ」は、2年次はゼミ教員が担当となり、通年で取得する科目である。授業形態は、目的に合わせ、全体授業とクラス単位の授業の2形式で実施。本学科は、各学生が独自のカリキュラムで受講する為に、固定されたクラスがないため全専任教員がクラス単位で指導教授として担当し、学生の学習支援・キャンパスライフ支援を行う。(DP②③)授業内容は、科目履修・生活支援・進路支援のほか、本学学生として必要な知識、建学の精神や社会人基礎力、pisa型学力を修得を目指し、実現したい将来像をプランニングしていく。(DP①②③④⑤)

学修内容	到達目標
① 学生生活の指導を受ける。 ② 科目登録の指導を受ける。 ③ 進路・就職の指導を受ける。 ④ コミュニケーションについて学ぶ。 ⑤ 建学の精神を深める。	① 学習生活を安定したものとすることができる。(DP②③④) ② 本学での学習目標を明確にすることができる。(DP②③④) ③ 将来の進路・就職を決定することができる。(DP②③④⑤) ④ 良好な人間関係の構築をめざすことができる。(DP④⑤) ⑤ 真心・努力・奉仕・感謝の精神の再確認と実践ができる。(DP①②)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	様々なことに対して、自分で考え積極的に取り組める。
	働きかけ力	
	実行力	科目履修では、興味関心と進路に合わせた授業選択ができる。
考え抜く力	課題発見力	自分の目標を達成する上で、課題を見つけることができる。
	計画力	将来の進路に合わせて学習の計画を立てることができる。
	創造力	様々な意見を聞くことにより、新たな発想で新しい価値観を見いだすことができる。
チームで働く力	発信力	知識を学ぶだけでなく、自分の考えを分かりやすく相手につたえることができる。
	傾聴力	様々な意見をしっかりと聞くことができ、理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：適宜、資料等を配布  
参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：本学科の基礎かつ主軸となる科目です。毎回のテーマを学ぶことにより、他科目に生かせる能力(社会人基礎力)を伸ばしましょう。  
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
① 将来の進路を決め学習目標を早く定めること。 ② 学生生活をしっかり考え計画的に行動すること。 ③ 学生生活で疑問や悩みなどあれば積極的に指導教授に相談すること。	① 遅刻や欠席をしない。毎週、固定した一定の時間帯での授業ではないので、開講日・時間をしっかりと把握して出席することが大切です。 ② レポートなどの課題は遅れないように提出すること。 コミュニケーションを図る授業では、積極的にクラスの仲間や教員とコミュニケーションを図り親睦を深めること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		レポート課題によりテーマから自分の考えをまとめ表現する力を身に付ける。本学の学修を通して学んだ四大精神、社会人基礎力、pisa学力についてレポートで評価していく。レポートや提出物の未提出は減点、場合によっては単位不可とする。 課題1：「気づきの会に参加して」について期限までに提出する。 課題2：「前期を振り返って」について期限までに提出する。 課題3：「わたくしのおもいでぐさ」について期限までに提出する。 課題4：「短大二年間を振り返って」について期限までに提出する。 その他に、各授業後に書かせたミニレポートを対象とする。
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	90	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
		②			
		③			
		④			
		⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：課題レポートは期限までに提出でき、字数や記載内容も良く書けていて問題ない。その他の提出物も期限を守って提出できる。外部講師の講話や学科教員からの説明もメモを取りしっかり理解できている。</p> <p>S：上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、際立って優れている。</p>	<p>C：課題レポートは期限までに提出できず、字数は少なく、記載内容も良くない。外部講師の講話や学科教員からの説明もあまり理解できてない。</p> <p>B：課題レポートは期限までにほぼ提出できたが、字数や記載内容はそれほど良くない。外部講師の講話や学科教員からの説明は聞いているが、熱心さは見られない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	全体オリエンテーション 進学、就職について ・自己PR・企業研究の仕方	全体講義 (全教員)	・授業の目的を理解し、必要に応じてメモを取る。疑問があれば質問することができる。 ・今後の学生生活について計画することができる。	(復習)各教員からの説明や連絡事項などメモし内容を読み返し理解しておく。 ・2年間の学習生活を計画する。	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
2	「リーディングスキルテストの実施」 「履修カルテ」の記入	ワーク レポートを読んでフィードバックする。	・リーディングスキルテストを受験し、読解力を高めるための方策を考えることができる。 ・履修カルテの記入を通して、今後の学生生活を考える。	(予習)1年次のテスト結果を確認し、読解力について再度考えてくる。 気づきの会前にレポート完成する濃さができる。 (復習)テスト内容を振り返り復習する。	90	実行力 発信力 傾聴力 状況把握力
3	気づきの会 外部講師によるグループ面談を通して残りの学生生活について考える。	ワーク グループ面談	気づきの会の通して、残りの学生生活を充実させるために、目標設定、実践ができる。	復習 面談を振り返り、レポートを作成し、今後の学生生活について考えることができる。 予習 就職、今後の進路、学生生活について考える	90	主体性 傾聴力 規律性
4	「リーディングスキルテストの解説会実施」	講義・ワーク、 レポートを読んでフィードバックする。	・リーディングスキルテストの結果から、読解力について自己分析ができる。	(復習)テスト結果を受け、読解力を伸ばすよう実践する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力
5	○クラス単位コミュニケーション、面談 リーディングスキルテスト結果指導	・生活、進路、学習指導などメモを取ることができる。	面談を通して、今後の学生生活に生かすことができる。 読解力を高める方策を具体的に述べられる。	予習 気づきの会を前に自己について考えるレポートを作成できる。 復習 リーディングスキルテストの結果を振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力
6	・就職活動の進め方 ・生活・進路・学習指導など ・履修カルテへ記入	全体講義→個人 (全教員) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・就職担当教員からの説明や諸注意を聞き大切な所はメモを取ることができる。 ・今後の就職活動について考え計画し進めることができる。	(予習)将来の進路や就職について考えてくる。 (復習)就職担当教員からの説明や連絡事項などメモして内容を読み返し理解しておく。	90	
7	○学習・生活について ・前期振り返り ・期末試験諸注意(教務部) ・夏期休暇に向けての生活指導(学生部)	全体講義 (全教員) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・各担当教員からの諸注意を聞き、大切な所はメモを取ることができる。 ・わからないことは担当教員に質問して解決することができる。 ・夏期休暇に向けて計画することができる。	(予習)前期振り返り反省点などについて考えてくる。 (復習)各教員からの説明や連絡事項などメモして進路・就職について読み返し理解しておく。	90	主体性 計画力 発信力 状況把握力
8	○後期オリエンテーション ・後期に向けて ・学生部・教務部・就職指導委員より連絡 ・学泉ノートを使って、社会人基礎力、建学の精神を自己評価する	全体講義 (全教員) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する	・各担当教員からの諸注意を聞き大切な所はメモを取ることができる。 ・わからないことは指導教員に質問して解決することができる。 ・後期の学習生活について計画することができる。	(予習)事前に後期受講科目の学修内容についてシラバスを読んで確認しておく。 (復習)各教員からの説明や連絡事項などメモして内容を読み返し理解しておく。	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	指導教授との面談 GPA、履修カルテの記入して卒業単位について見直す	個人面談 履修カルテの記入	時間割、単位を見直し、卒業に向けて、学生生活を充実させる方法を考える	予習 「おもいでぐさ」を読み返して、四大精神について振り返る 復習 履修カルテの記入を通して自身の学修状態を振り返る	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
10	だい先生から学ぶ四大精神 寺部理事長補佐	ワーク 講義	創立記念日にあたり、だい先生の半生から建学の精神を考える 私のおもいでぐさをレポートし、自身の半生を振り返り、今後の目標を考える。	復習 私のおもいでぐさを期日までにレポートする。	90	主体性 傾聴力 規律性
11	学びの泉 グランプリ大会	学外活動 見学参加・レポート作成あり	本学大学・短期大学の代表チームの発表を静かに聴講することができる。	(予習)発表チームは発表の準備をしてくる。 (復習)グランプリ大会に参加してのレポートを作成し期日までに提出する。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
12	○クラス単位コミュニケーション ・冬期休暇に向けて(学生部) ・学生指導(就職・学習指導、卒業にむけて) ・履修カルテへ記入	各クラス別指導(指導教授) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・指導教員と前期の学生生活のことや後期に向けて話し合うことができる ・学びの仲間や指導教授とコミュニケーションを取ることができる ・冬期休暇に向けて考え計画することができる	(予習)冬期休暇に向けて考え計画してくる。 (復習)冬季休暇に向けて各教員からの説明や連絡事項などメモして内容を読み返し理解しておく。	90	主体性 実行力 状況把握力 規律性
13	○「社会人になるにあたって」 ・成人のつどい ・二年間の振り返り ・期末試験諸注意(教務部) ★課題：感想文「短大二年間を振り返って」 講師：特別ゲスト	全体講義(全教員) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・社会人になるにあたっての講話を聞き、社会人としてのマナー・モラルについて考えることができる。 ・行事「成人のつどい」に参加することができた。	(予習)社会人になるにあたっての心構えなど自分で考えてくる。 (復習)講話を聞いて社会人としてのマナー・モラルなど考えまとめておく。「短大二年間を振り返って」の感想文を書き提出できるようにまとめる	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
14	総合ゼミナール発表会	全体の発表の視聴 ワーク 学泉ノートでpisa型学力、社会人基礎力を自己評価 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	ゼミ発表を通して、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力について考える。	復習 学泉ノートで、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を見返す。レポートの作成	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
15	○学習、生活、就職について ・春期休暇に向けて ・卒業式の連絡(学生部) ・今後の就職活動について(就職指導委員)	各クラス別指導(指導教授) 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・各担当教員からの諸注意を聞き大切な所はメモを取ることができる。 ・春期休暇の過ごし方を考え計画することができる。 ・今後の進路や就職活動を考え計画することができる。	(予習)春期休暇の過ごし方など計画しておく。 (復習)卒業後、スムーズなスタートが切れるように計画や準備しておく。	90	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力